台場ルームだより

令和８年１０月号
品川区立台場小学校　　校長　滝渕　正史
特別支援教室台場ルーム　担当教員一同
特別支援教室台場ルーム　専門員

SST で人との関わり合いを学ぶ

・SST とは?

Social Skills Training（ソーシャルスキルトレーニング）の頭文字をとったもので、対人関係で困り事がある児童が人との関わり方を学び、社会生活をスムーズに送るための力を身に付けていく指導です。

・SST の目標

コミュニケーションを円滑に行うために必要となる考え方や行動を身につけ、その子がより良い社会生活を送れるようになることを目指します。集団の中で人と関わっていく際には、自分の気持ちの伝え方や他人への配慮をはじめ「こうしたほうがいい」といった自分で判断していく場面があります。台場ルームでは、暗黙のルールの理解も含め、状況に応じた望ましい言動を身に付けられるように指導しています。

・SST の5つのステップ

①教示：どんなスキルを身に付けるための練習なのかを明確にします。イラストやカード、絵本などを使いながら、なぜこのスキルが必要なのかを伝え、子どもの意欲を引き出します。

②モデリング：指導者が手本となったり動画を見せたりして、児童に観察させ、模倣させます。モデリングの際には、「望ましい言動」だけでなく、ときには「望ましくない言動」を示したりしながら、児童に考えさせることが大切です。

③リハーサル：教示やモデリングで学んだスキルをロールプレイングやゲームで実践します。

④フィードバック：小集団指導などで実践した様子について、個別指導で適切だった場面を褒めたり上手くいかなかった場面では、どのようにするとよいか一緒に考えたりします。

⑤般化：身に付けた力を学校生活で使えるよう、その様子をフィードバックしながら発揮できるようにします。

・台場ルームでの活用







特別支援教室では、児童の気持ちに寄り添いながら、その子に合った SST を考えていきます。SST は児童が「やらされる」のではなく、「楽しい」や「うまくいった」といった気持ちをもてることが大切です。SST を通して、相手の気持ちや出来事の因果関係を踏まえ、適切な言動を考えられるように指導しています。